

第72回福島県男女総合バスケットボール選手権大会

兼 第34回植木杯

兼 第93回天皇杯・第84回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会 第1次ラウンド

日程 平成29年8月28日(月)

場所 あいづ総合体育館

試合 Aコート第3試合 11:30~13:00

女子決勝 戦評 「福島大学」 対 「郡山商業高校」

第1P、福島大学はハーフコートマンツーマン、郡山商業はオールコートマンツーマンで開始。福島大学#13のシュートを皮切りに、互いに精度の高いジャンプシュートで点を取り合う展開に。福島大学のタイムアウト後に郡山商業はオールコート2-2-1のゾーンプレスで仕掛けて相手のミスを誘い確実に得点につなげる。勢いに乗った郡山商業が大きくリードし18-27で終了。

第2P、福島大学#30が2連続3Pを決めて差を縮めるも、郡山商業は#7の力強いドライブイン、センタープレーで得点を重ねリードを許さない。福島大学は残り2分でタイムアウトをとると#30を起点に流れの良い試合運びを見せる。ディフェンスリバウンドからの速攻やセットプレーで加点し、46-50と4点差まで追いつく。

第3P、互いに激しい攻防を見せるがシュートが決まらない。残り5分に福島大学は#17の得点で同点に追いつくと#12が力強いプレーでファールをもらいフリースローを決めて55-54と逆転。リードを許した郡山商業は、#5がドライブインで得点し、2-2-1のゾーンプレスで流れを引き戻そうとするが、福島大学はディフェンスの裏を突くプレーでリードを広げる。郡山商業がタイムアウトを取るも福島大学の勢いは止まらず65-58とリードを広げて終了。

第4P、郡山商業#4が果敢に攻め3連続得点する。その後互いに一進一退の攻防を繰り返すが、郡山商業がじわりじわりと追い上げ一点差まで詰め寄る。残り0:51となったところで郡山商業が2回目のタイムアウト。タイムアウト明け郡山商業のオフense、逆転を狙うが福島大学の厳しいディフェンスに難しいシュートを打たされ得点できず苦しい展開。一方、福島大学も郡山商業の粘り強いディフェンスにシュートが打てず24秒オーバータイムとなり、互いに決め手を欠いたまま残り0:13で郡山商業が3回目のタイムアウト。今度こそシュートを決めたい郡山商業は最後の一秒までシュートを狙うが決めることができなかった。最後まで厳しいディフェンスを見せた福島大学が79-78で優勝し、第2次ラウンドへの切符を手にした。

ミニ国体終了後間もなくして行われた今大会だったが、疲労を感じさせない素晴らしい戦いぶりであった。連戦を戦い抜いた両チームの健闘を称えたい。

文責 保科 愛 (会津地区強化委員)